### 第2章 上里町の地域素材を生かした教材の開発

# 第1節 上里町の概要~地理的・歴史的な観点から~



(地図:地理院地図 Vecter から作成)

# 町の基本的な概要

上里町は児玉郡に属し、埼玉県の最北端に位置する、東西約6km、南北約7km、面積約29平方km、人口約31000人の町である。東を本庄市、南を神川町と接し、北と西を群馬県と接する県境の町である。地形的な特徴として、西に神流川 北に烏川・利根川が流れ、地質的には南東部の本庄台地と北西部の神流川扇状地に二分され、北へ向かうほど土地は低くなり、南(約85m)と北(約55m)では約30mの高低差がある。

#### 地理的・歴史的な概要

かなり古い時期から人が住んできた様子が見られ、町内各地に古墳時代の群集墳が多く現存し、埴輪や 土器なども多く出土している。古代には上里町のほぼ全体を指して「賀美郡」と呼ばれ、正倉院に収めら れた布からも賀美郡 (加美郡) の名称が見られる。中世には武蔵武士の一派である丹党の武士たちの拠点 として、勅使河原氏や安保氏など有力武士が領地を構えていた。戦国期には滝川一益と北条氏直との間で 神流川の合戦が起こり、文献によると数万の兵が激しく戦った。近世は中山道の整備により本庄宿と新町 宿の中間に神流川の渡し場が設けられ上武国境の地として重要であり、参勤交代の大名も数多く通過し た。明治以降は高崎線とともに養蚕業・製糸業を発展させてきた。

現代ではかつての中山道の流れを汲み、国道 17 号、関越自動車道、高崎線、上越新幹線が町の中央部を走るほか、南部は国道 254 号も通過。2015 年には関越自動車道上里サービスエリアにスマートインターチェンジが開通。本庄市・高崎市・藤岡市と結びつきが強く、通勤・通学や買い物などで多くの人が行き来する。また、野菜栽培・製造業がさかんである。

以上のように極めて部分的な概要を記述しただけでも、古代から近現代までの各時代、交通や産業などの各分野それぞれに多様な教材化の可能性が含まれている町であると言える。実際にこの研究を通して、町の知らなかった歴史や見てはいても認識していなかった側面を山のように知ることができた。むしろ、私は町のことをほとんど知らなかったと言っても過言ではない程である。

1年間を通して文献調査や現地調査で収集してきた多くの資料や情報について、代表的なものを 14 ページ以降に列挙していく。

#### 【なぜ水害に関する資料に重点を置いたか】

研究開始段階における指導者の平澤先生との打ち合わせの場で、「上里町とはどんな町であるか」ということを話す中で、私が当時持っていた印象の1つとして「大きな災害がない町」を挙げた。それに対して帰ってきた反応が、「本当にそうなのか。災害がないのではなく、なくなったのではないのか。」というものであった。今にして考えれば当然のことであるが、その時の自分にとっては目から鱗が落ちる感覚であった。「大昔神流川の大水があり屋敷ごと移ってきた」と亡くなった祖父から自宅の由来について聞かされたことはあったが、実際に水害が現実に起きると考えたことはなかった。

その折に、私が中学生の時代から疑問だった風景について質問してみた。それは、「神流川には隙間の空いた互い違いの堤防があり、こんなものが洪水の時意味があるのかとずっと思っていた。」というものである。すると即座に、「それは霞堤といって、急流で洪水が頻繁に起こる河川特有のものだ。」という答えが返ってきた。私はこのやり取りの中で、長年住んできた地域について自分がいかに無知であったかを痛感することになった。そして、上里町の地域的特色についてより知りたいという探求心と、授業の中で生徒の認識を新たにしていきたいという思いが強くなった。そこに、昨今の防災教育の必要性の高まりもあり、多様な地域素材に光を当てる中でも特に水害に関して重点を置いて調査・研究をしようと考えたのである。

もう1つの大きな要素として、研究後半の10月に発生した令和元年台風19号がある。後の検証授業の項でも触れるが、私の生涯で初めて、町役場(くらし安全課)への取材によれば町始まって以来でも初めて、自分の住む区域への避難勧告が発令されたこの台風は関東各地に大きな被害をもたらし、私たちの災害に対する意識を大きく改めるものであった。もともと水害に重点を置いて地域素材の収集を進めていたが、この台風の影響もあり、検証授業の内容も含めその方向性がより定まることになった。

次ページ以降の第2節では、以上のような上里町の概要や水害に関する考えを踏まえ、今年度現地調査や資料収集などで取材した成果である地域教材、地域素材を新学習指導要領の内容にもとづいて整理・分類し、一覧表としている。また、第3節では第2節でまとめた一覧表の中でも水害に関することや地域の特色を表す資料について紹介している。